

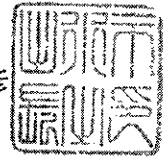


出 建 第 1 8 9 号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

出水市長 渋谷 俊彦



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

このことについて、別紙のとおり提出します。

（9月19日付け 国道企第37号分）

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

■ 道路の中期計画の策定について

再度策定することとなった道路の中期計画については、現在、道路の将来交通需要推計や道路事業の評価手法を様々な観点から見直しをされているところですが、評価を全国一律の手法で行った場合、都市部に比べ地方においては人口減少・高齢化の進行が早いため、将来の交通需要が小さく推計され、過少に評価されることを懸念しております。

公共交通機関が少ない地方部は、世帯あたりのガソリン代を都市部に比べ圧倒的に多く支出してきましたので、事業評価においては、地方の負担に対して、相応の評価をしていただきますようお願いいたします。

■ 道路行政に対する信頼の回復について

道路関係業務の執行に関する種々の支出について、国会等で指摘された事項は、道路行政に対する信頼を損ね、道路整備のために必要な財源を安定的に確保するため、これを負担し続けてきた国民の信用を失うものであり、大変遺憾に思います。道路行政に対する国民の信頼を回復するためにも、国民の立場に立った改革の迅速な実行をお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

南九州西回り自動車道の出水阿久根道路の一部着工や、鹿児島空港へのアクセス道路としての北薩横断道路の一部供用、また、島原天草長島連絡道路についても風や潮流等の自然条件調査や地震・波浪観測等が進められているなど、その整備促進が図られています。

また、周囲を山地に囲まれた本市の地域的特性から、その外側の広域的な地域とを結ぶ路線は、国道及び県道が担っていますが、過去において計画された整備路線については、予算上の制約や整備の優先順位などから現在も未着手のままとなっているものもあります。

○課題

道路特定財源の一般財源化により、現状では着実に整備が進められているこれらの道路に対し、今後も整備促進が図れるよう、十分な財源を確保してもらえるかが課題です。

また、合併という基本的な枠組みの変化に対応する路線の必要性、高速交通体系と一体化した道路の整備、各居住地における道路交通の利便性を向上させる道路整備の検討が必要となっています。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

■ 第一次出水市総合計画

道路・交通ネットワークは、人・物・情報の交流がより活発になる中で、移動、交流などの手段として、社会経済活動や市民生活において重要な役割を果たしています。

そこで、交通混雑を解消し、快適で安全性の高い道路交通体系を構築するため、各地域の生活拠点間を結ぶ道路の整備と、南九州西回り自動車道や国道などの広域幹線道路とのバランスのとれた道路網や、市民の生活道路などの整備を推進し、歩道の整備、道路・交通施設のバリアフリー化を目指します。

また、本市と鹿児島空港とのアクセス道路となる北薩横断道路や東アジア地域と交流・連携を図る上で重要となる九州西岸軸構想における島原天草長島連絡道路の整備促進を目指します。

■ 出水市道路総合整備計画

本市においては、合併という基本的な枠組みの変化に加えて、厳しい財政状況、人口の減少及び少子・高齢化の進行など、近年の自治体を取り巻く社会情勢の変化に対応した計画的かつ効率的な道路整備を行うことが必要となります。

また、南九州西回り自動車道の出水阿久根道路の一部着工や、鹿児島空港へのアクセス道路としての北薩横断道路の一部供用など、高速交通の整備推進が図られており、高速交通体系と一体化した道路交通ネットワークを構築する必要があります。

このようなことから、本市の健全な発展と秩序ある道路整備を実現するため、社会経済状況の変化に的確に対応するよう計画を策定しました。

本計画は、新市の均衡ある発展と地域間の融和を図るため、都市整備の根幹となる交通体系について、既存資料や地域特性などの実態調査で問題点を整理し、交通需要、安全性、経済性、施工性及び沿道環境等の総合的な評価を行い、将来骨格道路網を設定し、整備路線を明確にしました。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・国際競争力の強化のための交通サービスの向上	南九州西回り自動車道	東アジア地域と我が国との間の物流は著しく増加していますが、本自動車道の沿線は地理的に東アジア地域と近く、特に中国の上海や、韓国の釜山へは東京よりも近いことから大量かつ頻繁に輸送が可能です。しかし、国際標準コンテナ車が通行できる路線が国道3号のみであり、円滑な物流や人流を確保するには脆弱なネットワークです。そこで、地域が自立的な発展を図っていくため、本自動車道が戦略的な社会資本整備として必要であると考えます。	
・地域活力の向上	南九州西回り自動車道	活力ある地域に実現のために地域産業の活性化、産業の新規立地などを推進する上で、本自動車道の早期の全線開通は、広域的な物流の効率化、地域間交流の拡大、地域の魅力の発信に大きく寄与するものであると考えます。	
	北薩横断道路	北薩横断道路は一部区間で供用されてはいるものの、その事業効果はあまり発現されていません。しかし、この道路が全線開通することにより、地域の生産活動や人的交流が促進されるとともに、鹿児島空港や北薩広域公園へのアクセス向上などの便益が大きく図られるものと考えます。	

・都市交通の快適性、利便性の向上	出水市道路総合整備計画 （市道の計画的整備・「短期整備路線」、「長期整備路線」）	高速交通体系と一体化した道路交通ネットワークを構築し、本市の健全な発展と秩序ある道路整備を実現するため、本計画を策定しました。計画の着実な実行は、本市の都市交通の快適性や利便性の向上に寄与するものであると考えます。	
------------------	---	---	--